BroadStation BLR-TX4

ネットワーク活用ガイド

本書には、BroadStation の設定例や便利な機能の使い方などが記載されています。必要に応じてお読みください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク / 用語表記

注意マーク

⚠注意 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

メモ 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

▶参照 関連のある項目のページを記しています。

- 文中 [ ] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- 文中『 』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- 本書では原則として BLR-TX4 を BroadStation と表記しています。
- 本書では原則として BroadStation を設定するパソコンを設定用パソコンと表記しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等 (または役務) に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可 (または役務取引許可) が必要です。

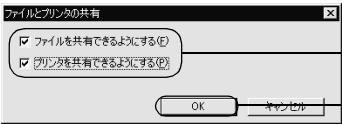
目　次

第 1 章　もっと使える便利な機能

■　ここで説明すること

BroadStation の設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

1.1 通信環境を設定する

■ 他のパソコンと通信をする

BroadStation は 4 ポートスイッチングハブを内蔵しており、以下の手順で他のパソコンとのネットワーク環境を構築することができます。ここでは、Windows98 での手順を説明します。

ネットワークの設定

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［コントロールパネル］内の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

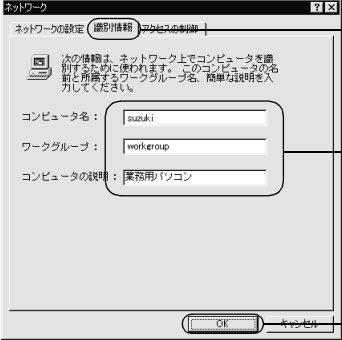
［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

Windows Me/98 をお使いの場合は、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

4

［ファイルを共有できるようにする］および［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックして ON にします。
［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

5

［Microsoft ネットワーク共有サービス］が追加されます。

6

［識別情報］タブ（Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ）をクリックします。

［コンピュータ名］－［ワークグループ］、および［コンピュータの説明］を確認します。

［OK］をクリックします。

［コンピュータ名］－［ワークグループ］には、半角英数字を入力することを推奨します。

⚠注意　**一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できない場合があります。**

⚠注意　**ワークグループ名は、ネットワークで接続するすべてのパソコンに、同じ名前を設定してください。**

▶参照　**［コンピュータ名］－［ワークグループ］－［コンピュータの説明］の詳細説明については、「第 3 章　ネットワーク 用語解説」の「Windows Me/98 の画面」（P35）または「Windows95 の画面」（P36）を参照してください。**

7　**「今すぐ再起動しますか？」と表示されます。**
［はい］をクリックします。

パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。

ここでは、［マイコンピュータ］の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1　**デスクトップ上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

2

C ドライブのアイコンを、マウスの右ボタンでクリックします。
メニューから［共有］を選択します。

3

［共有する］のオプションボタンをクリックします。

「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更します。

［OK］をクリックします。

▶参照　**「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、「第 3 章　ネットワーク 用語解説」の「Windows Me/98/95 の画面」（P34）を参照してください。**

4　**C ドライブのアイコンが、以下のように変わります。**

他のパソコンとの通信

他のパソコンとの通信ネットワークへの接続確認が完了したら、他のパソコン（ネットワーク上のパソコン）と実際に通信してみましょう。

ここでは、Windows98 の画面を用いて説明します。

1　**デスクトップ上の［ネットワーク　コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**
接続されているパソコンが表示されます。

2

通信したいパソコンをダブルクリックします。
通信したいパソコンが表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「他のコンピュータが表示されない」を参照してください。

3

「パソコンの共有設定」（P6）で設定されたドライブが表示されます。
通信したいドライブをダブルクリックします。

4

ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。

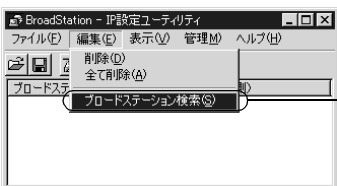
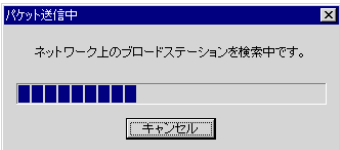
以上で、本製品を装着したパソコンから、LAN 上のパソコンへの接続が完了しました。LAN を使用した、快適な環境でパソコンをお使いいただけます。

■ BroadStation の設定画面を表示する

BroadStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1 **お使いの** Windows **に応じて以下を参照して、設定用パソコンに** BroadStation IP **設定ユーティリティをインストールします。**

Windows Me **の場合：**

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 **章　**Windows Me **編」の「**Step 3 **設定用パソコンに** IP **設定ユーティリティをインストールする」**

Windows98/95 **の場合：**

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 **章　**Windows98/95 **編」の「**Step 3 **設定用パソコンに** IP **設定ユーティリティをインストールする」**

Windows2000/NT4.0 **の場合：**

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 **章　**Windows2000/NT4.0 **編」の「**Step 3 **設定用パソコンに** IP **設定ユーティリティをインストールする」**

2 **［スタート］－［プログラム］－［**MELCO BroadStation**］－［**BroadStation IP **設定ユーティリティ］を選択します。**

3

1 選択

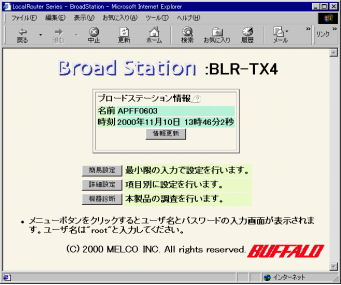
［編集］－［ブロードステーション検索］を選択します。

4

BroadStation **の検索が始まります。**

5

BroadStation **が表示されます。**

⇒ 次ページへ続く

6

検索された BroadStation を選択します。

［管理］－［ブロードステーション設定］を選択します。

7

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

1.2 各種設定の変更と確認

■ 設定画面のパスワードを設定する

BroadStation の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。

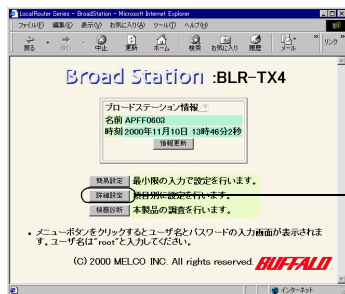
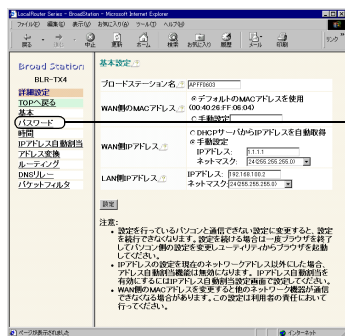
1 **「BroadStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。**

2

［詳細設定］をクリックします。

3

［パスワード］をクリックします。

4

「新パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

「パスワード確認」欄に再度パスワードを入力します。

メモ　パスワードとして入力できるのは、半角英数字と "_"（アンダーバー）の組み合わせで、最大 8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。

パスワードを忘れてしまった場合は、BroadStaion 背面の工場出荷設定スイッチを押すと、出荷時のパスワードに戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

工場出荷設定スイッチについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の裏面「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

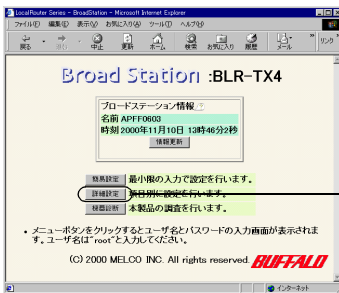
■　NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなう

各種 NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなうには、以下の手順をおこないます。

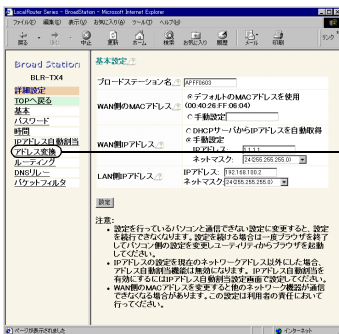
1　**「BroadStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。**

2

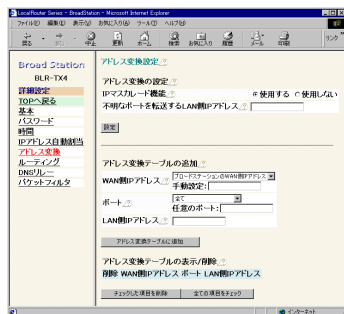
1 クリック

［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック

［アドレス変換］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

1　もっと使える便利な機能

4　**この画面で各種 NAT（アドレス変換）機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。**

- **IP マスカレード機能**
  IP マスカレードとは、1 つの IP アドレスを複数の IP アドレスで共有する技術です。一般的なインターネット契約（IP アドレスが 1 つの契約）では、" 使用する " を選択します。" 使用しない " を選択した場合、LAN 側で使用する機器以上のグローバル IP アドレスを入手して設定しないと、インターネット接続ができなくなります。なお、「ルーティング」設定と併用することにより、本格的な LAN 間接続に対応することが可能です。（ルーティングの設定には相応の知識が必要となりますので、充分ご注意ください）
- **不明なポートを転送する LAN 側 IP アドレス（DMZ アドレス設定）**
  DMZ に指定するパソコンの IP アドレスを設定します。ここに設定されたパソコンは、WAN 側に直接つながっているかのように使用することができます。従来、IP マスカレード機能を使用した場合には利用できなかった、ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションなどが使用できます。この機能は、IP マスカレード機能を " 使用する " と設定した場合のみ有効です。なお、アドレス変換テーブルに設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- **アドレス変換テーブルの追加機能**
  各種サーバ（WWW サーバ、FTP サーバ等）の公開が可能とする機能です。WAN 側 IP アドレス、ポート番号、LAN 側 IP アドレスの組み合わせにより、最大 32 種類の組み合わせを設定することができます。例えば WWW（HTTP）サーバの公開の場合は、ポート 80 番宛のインターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送するよう設定することによって実現できます。ただし、サーバの公開には一般的に固定グローバル IP アドレスの取得が必要となります。ご注意ください。

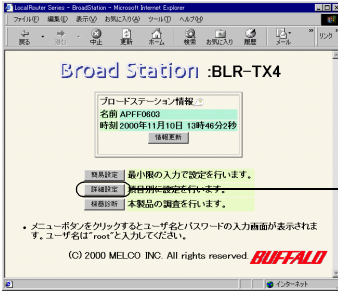
■　ルーティング機能の設定をおこなう

以下の設定で、各種ルーティング機能の設定ができます。

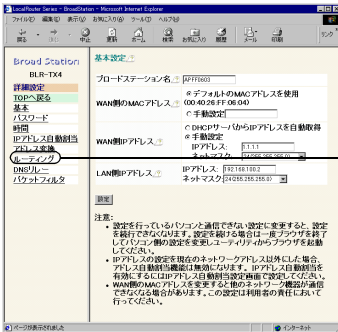
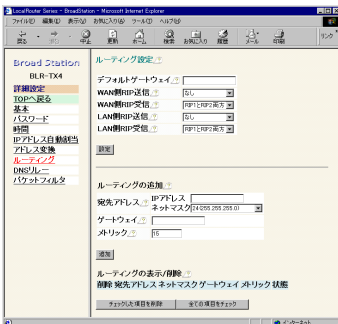
1　**「BroadStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック

［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック

［ルーティング］をクリックします。

4　**この画面で各種ルーティング機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。**

1　もっと使える便利な機能

- **デフォルトゲートウェイ**
  BroadStation に設定されていないパケットの、宛先ルータを設定します。
  WAN 側 DHCP よりデフォルトゲートウェイアドレスを取得している場合は、この設定は無効となります。
- **RIP 送受信**
  RIP は、ルータ間で自動的にルーティングテーブル情報を交換するプロトコルです。WAN 側 RIP 双信は、IP マスカレード使用時には無効となります。RIP を誤って設定すると、多数のルータが通信できなくなるなど、多大な影響を及ぼしますので、設定には充分ご注意ください。
- **ルーティングの追加**
  ルーティングテーブルを手動で追加することができます。

■ パケットフィルタの設定例

パケットフィルタの設定で、以下の 2 つの設定を変更することができます。

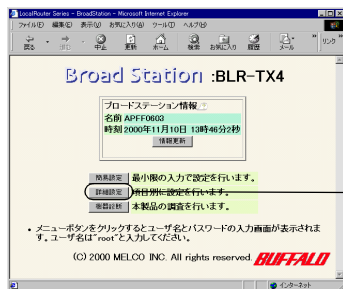
- LAN 側から WAN 側へのフィルタを手動設定する
- NBT パケットのルーティングを禁止する

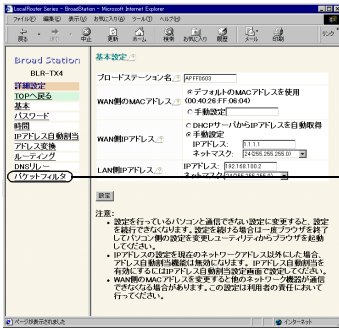
設定手順は以下の通りです。

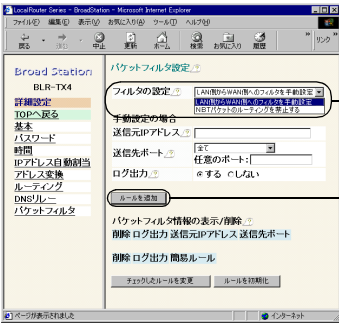
1 **「BroadStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック

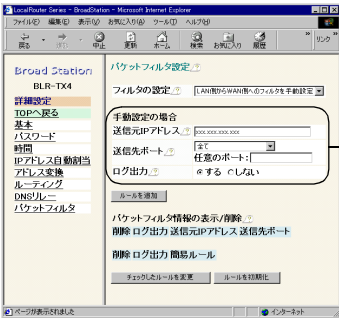
［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

3

1 クリック

「パケットフィルタ」をクリックします。

1 選択

「フィルタの設定」欄から、設定する項目を選択します。

2 クリック

［ルールを追加］をクリックします。

1 入力

「LAN側からWAN側へのフィルタを手動設定」を選択する場合は、以下の項目も入力します。

送信元 IP アドレス：通信パケットを通さない送信元 IP アドレスを入力します。

メモ **連続した IP アドレスを指定することもできます。**
例：192.168.0.5-192.168.0.10

⇒ 次ページへ続く

1 もっと使える便利な機能

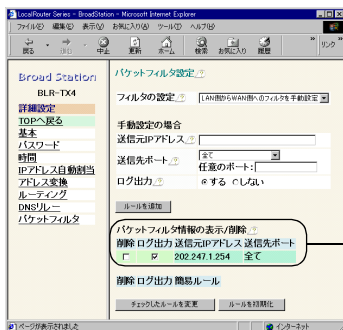
送信元ポート　　：通信パケットを通さない送信元ポートを入力します。
「任意の TCP ポート」および「任意の UDP ポート」を選択した場合は、「任意のポート」欄にポート番号を入力してください。

メモ　**連続したポートを指定することもできます。**
例：2000-3000

ログ出力　　：パケットを検出したときにログへ出力するかどうか設定します。

5　**「パケットフィルタを登録しました」と表示されます。**
［戻る］をクリックします。

6

1 確認　**追加したパケットフィルタが表示されます。**

以上で設定完了です。

■　IP アドレス自動割当機能（DHCP サーバ）の設定例

以下の場合の設定例を説明します。

DHCP で割り当てるアドレス

　192.168.0.5 〜 192.168.0.24

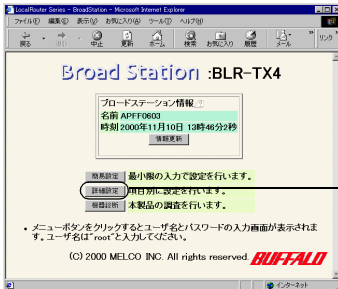
上記の IP アドレスのうち除外するアドレス

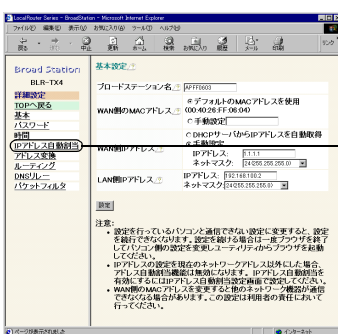
　192.168.0.17

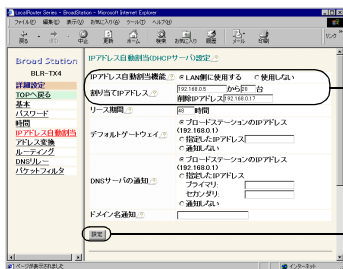
⚠注意　**DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスは、BroadStation の IP アドレスと同じネットワークアドレスとなるように設定してください。**

1　**「BroadStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。**

2

1 クリック　**［詳細設定］をクリックします。**

3

1 クリック　**「IP アドレス自動割当」をクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

4

1 入力　**以下の設定を入力します。**
IP **アドレス自動割当機能：**
　　　「LAN **側に使用する」**
割り当て IP **アドレス：**
　　　「192.168.0.5**」から「**20**」台**
削除 IP **アドレス：**
　　　「192.168.0.17**」**

2 クリック　**「設定」ボタンをクリックします。**

メモ　BroadStation **を使用してインターネットに接続する場合は、以下の項目も設定します。**
デフォルトゲートウェイ：　「BroadStation **の** IP **アドレス」**
DNS **サーバ通知：　プロバイダから指定された** DNS **アドレスを入力します。**

以上で設定完了です。

■　BroadStation の IP アドレスを確認する

以下の手順で BroadStation の IP アドレスを確認できます。

1　**お使いの** Windows **に応じて以下を参照して、設定用パソコンに** BroadStation IP **設定ユーティリティをインストールします。**

Windows Me **の場合：**
　別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　**Windows Me **編」の「Step 3　**設定用パソコンに** IP **設定ユーティリティをインストールする」**

Windows98/95 **の場合：**
　別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　**Windows98/95 **編」の「Step 3　**設定用パソコンに** IP **設定ユーティリティをインストールする」**

Windows2000/ NT4.0 **の場合：**
　別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　**Windows2000/NT4.0 **編」の「Step 3　**設定用パソコンに** IP **設定ユーティリティをインストールする」**

2　**［スタート］－［プログラム］－［**MELCO BoardStation**］－［**BroadStation IP **設定ユーティリティ］を選択します。**

⇒ 次ページへ続く

3

[編集] − [ブロードステーション検索] を選択します。

4

BroadStation **の検索が始まります。**

5

「IP **アドレス」欄に、**BroadStation **の** IP **アドレスが表示されます。**

■　BroadStation の設定を出荷時設定に戻す

1　BroadStation **が動作していることを確認します。**

2　BroadStation **の背面にある工場出荷設定スイッチを** 3 **秒以上押し続け、**DIAG **ランプが点灯したらスイッチを離します。**DIAG **ランプが消灯すると、出荷時設定にリセットされます。**

メモ　**工場出荷設定スイッチについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「**5　**各部の名称とはたらき」を参照してください。**

1.3 自己診断機能

BroadStation は、電源 ON 時または再起動時に、自己診断する機能を持っています。

異常が発生したときは、DIAG ランプの点滅回数で、エラー内容を特定できます。DIAG ランプの点滅は、電源 OFF 時または再起動時まで、繰り返しおこなわれます。

⚠注意 DIAG **ランプは、データの書き込み中も点灯します。データの書き込み中は、絶対に** BroadStation **の電源を切らないでください。**
※ データの書き込みは、設定時とファームウェア更新時におこなわれます。

■ DIAG ランプ点滅時のエラー内容

点滅回数	状態	説明
1 回	RAM チェック異常	内部メモリの読み書きができません。
2 回	ROM チェック異常	フラッシュ ROM の読み書きができません。
3 回	LAN コントローラ異常	LAN コントローラが故障しています。
5 回	時計異常	時計が正常に設定されていません。または、時計の電池が切れている恐れがあります。
9 回	上記以外の異常	

上記のエラーが表示されたときは、一度、AC アダプタをコンセントから抜き差ししてください。抜き差ししてもエラーが表示されるときは、弊社修理センター宛に BroadStation を直接お送りください。

第 2 章　BroadStation の設定画面の機能

■　ここで説明すること

BroadStation の設定画面を使用してできる、さまざまな機能について説明しています。

2.1 BroadStation の設定画面の使い方

■ 設定画面とは

BroadStation の設定画面では、簡易設定、詳細設定、機器診断をおこなうことができます。

簡易設定

最小限の入力をするだけで、BroadStation の設定ができます。

詳細設定

基本設定やアドレス変換、ルーティング設定など項目別に入力をして、BroadStation の設定をします。

機器診断

BroadStation の本体情報やネットワーク情報などを表示します。

■ 設定画面を表示する

BroadStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1　お使いの Windows に応じて以下を参照して、パソコンに BroadStation IP 設定ユーティリティをインストールします。

Windows Me の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　Windows Me 編」の「Step 3　設定用パソコンに IP 設定ユーティリティをインストールする」

Windows98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　Windows98/95 編」の「Step 3　設定用パソコンに IP 設定ユーティリティをインストールする」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　Windows2000/NT4.0 編」の「Step 3　設定用パソコンに IP 設定ユーティリティをインストールする」

⇒ 次ページへ続く

2　**［スタート］－［プログラム］－［MELCO BroadStation］－［BroadStation IP 設定ユーティリティ］を選択します。**

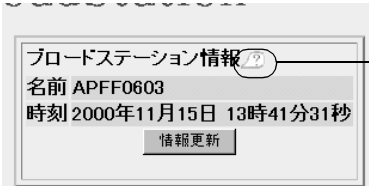
3　**［編集］－［ブロードステーション検索］を選択します。**

4　**BroadStation の検索が始まります。**

5

BroadStation が表示されます。

6

検索された BroadStation を選択します。

［管理］－［ブロードステーション設定］を選択します。

7

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章 困ったときは」の「設定画面が表示されない」を参照してください。

■　使い方をヘルプで見る

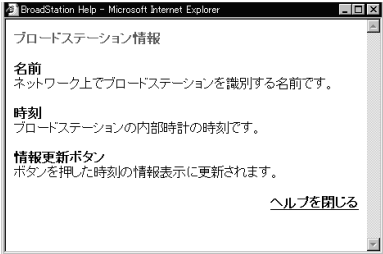
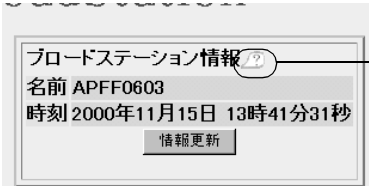
BroadStation の設定画面について詳しく知るには、ヘルプを参照してください。
ヘルプは、以下の手順で表示できます。

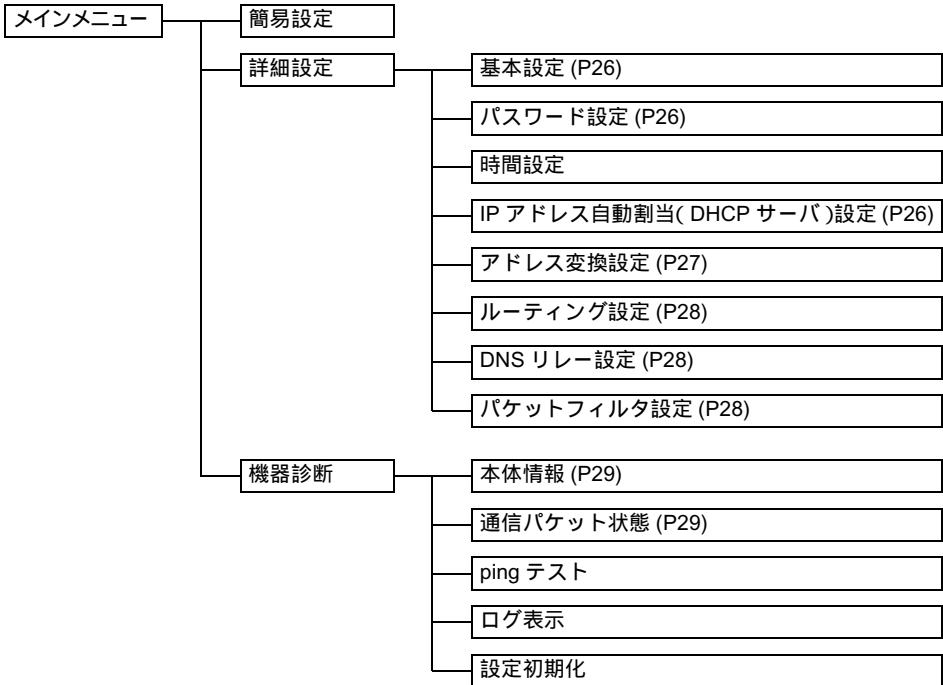
1　**「設定画面を表示する」（P22）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。**

2

設定項目のとなりにある「？」マークをクリックします。

3

ヘルプ画面が表示されます。

2.2 設定画面で使える機能

■　設定画面の構成

■　詳細設定画面の機能一覧

メモ
- ※印のある項目は、簡易設定画面でも設定できます。
- 設定画面について、詳しくは設定画面上のヘルプを参照してください。

項目	説明	出荷時設定
基本設定		
ブロードステーション名※	BroadStation 名称を設定します。注 1	"AP"+MAC アドレスの下 6 桁
WAN側のMACアドレス	WAN 側の MAC アドレスを設定します。 注意　不正なアドレスを入力して使用すると、BroadStation だけでなくネットワーク上の他の機器も使えなくなります。この設定はお客様の責任においておこなってください。	デフォルトのMACアドレスを使用
WAN 側 IP アドレス	BoardStation の WAN 側の IP アドレスを設定します。	1.1.1.1（255.0.0.0）
LAN 側 IP アドレス	BroadStation の LAN 側の IP アドレスを設定します。	192.168.0.1（255.255.255.0）
パスワード設定		
管理ユーザ名	BroadStation の設定画面へログインする際のユーザ名です。	root（変更不可）
パスワード	BroadStation の設定画面へログインする際のパスワードを設定します。	なし
パスワード確認	確認のためにパスワードを再度入力します。	なし
IP アドレス自動割当（DHCP サーバ）設定		
IP アドレス自動割当機能※	IP アドレスを BroadStation から自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用しない

⇒ 次ページへ続く

項目	説明	出荷時設定
割り当て IP アドレス※	パソコンへ割り当てるIPアドレスを設定します。	BroadStation の IP アドレスの次のアドレスから 16 台
リース期間	IP アドレスのリース時間（期間）を設定します。	48 時間
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。通常は、「ブロードステーションの IP アドレス」を設定します。	BroadStation の IP アドレス
DNS サーバの通知	DNS サーバとして通知する IP アドレスを設定します。	BroadStation の IP アドレス
ドメイン名の通知	通知するドメイン名を設定します。	通知しない
アドレス変換設定		
IP マスカレード機能	IPマスカレード機能を使用する／使用しない を設定します。	使用する
不要なポートを転送する LAN 側 IP アドレス	変換先不明の TCP または UDP ポートへの通信パケットを WAN 側から受信したときに転送するIPアドレスを設定します。（IP マスカレード機能を使用している場合のみ有効）	―
WAN 側 IP アドレス	WAN 側と通信するときに使用する IP アドレスを設定します。	BroadStation の WAN 側 IP アドレス
ポート	登録した LAN 側 IP アドレスからこのポートを使って WAN 側と通信するときに、登録した IP アドレスに変換されます。 メモ 「任意の TCP ポート」および「任意の UDP ポート」を選択したときは、「任意のポート」欄にポート番号を入力します。	全て

⇒ 次ページへ続く

2

BroadStationの設定画面の機能

項目	説明	出荷時設定
ルーティング設定		
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。	なし
WAN 側 RIP 送信	WAN 側に送信する RIP 情報を設定します。	RIP1 と RIP2 両方
WAN 側 RIP 受信	WAN 側から受信する RIP 情報を設定します。	なし
LAN 側 RIP 送信	LAN 側に送信する RIP 情報を設定します。	RIP1 と RIP2 両方
LAN 側 RIP 受信	LAN 側から受信する RIP 情報を設定します。	なし
宛先アドレス	宛先の IP アドレスを設定します。	—
ゲートウェイ	宛先のIPアドレスへ通信パケットを送信するときに中継するIPアドレスを設定します。	—
メトリック	宛先のIPアドレスまでに超えることのできるルータの数を設定します。	15
DNS リレー設定		
プライマリ DNS サーバ	BroadStationへのDNS要求があった場合、DNS パケットを転送する DNS サーバの IP アドレスを設定します。	—
セカンダリ DNS サーバ	プライマリ DNS サーバの応答がない場合に使用する DNS サーバの IP アドレスを設定します。	—
パケットフィルタ設定		
フィルタの設定	指定したフィルタの有効／無効を指定します。	なし

注 1: 半角英数字記号（大文字／小文字の区別あり）を 32 文字まで入力できます。

■　機器診断画面の機能一覧

項目	説明
本体情報	
製品名	BroadStation **の製品名を表示します。**
ブロードステーション名	BroadStation **名を表示します。**
WAN **側** MAC **アドレス**	BroadStation **の** WAN **側の** MAC **アドレスを表示します。**
LAN **側の** MAC **アドレス**	BroadStation **の** LAN **側の** MAC **アドレスを表示します。**
IP**アドレス自動割当機能**	IP **アドレス自動割当機能を使用する／しないを表示します。**
WAN **側** IP **アドレスの設定方法**	WAN **側の** IP **アドレスの設定方法を表示します。**
WAN **側** IP **アドレス**	BroadStation **の** WAN **側** IP **アドレスを表示します。**
WAN **側ネットマスク**	BroadStation **の** WAN **側ネットマスクを表示します。**
LAN **側** IP **アドレス**	BroadStation **の** LAN **側** IP **アドレスを表示します。**
LAN **側ネットマスク**	BroadStation **の ＬAN 側ネットマスクを表示します。**
デフォルトゲートウェイアドレス	**デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。**
DNS **サーバアドレス**	DNS **サーバアドレスを表示します。**
通信パケット状態	
送信パケット数	**送信したパケット数を表示します。**
送信エラーパケット数	**送信エラーとなったパケット数を表示します。**
受信パケット数	**受信したパケット数を表示します。**
受信エラーパケット数	**受信エラーとなったパケット数を表示します。**

第 3 章　ネットワーク用語解説

■　ここで説明すること

本書で使われている用語のうち、ネットワークを構成するうえで必要となる用語とWindows の画面に表示される用語について説明します。

3.1 ネットワーク関連の用語

■ 英語表記や略記が一般的な用語

アルファベット順に説明します。英語の後にカタカナ表記が続く用語もここで説明します。

DHCP サーバ（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IP でネットワークを構築するときは、必ず各パソコン等の機器に IP アドレスを設定する必要があります。

DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンやブロードステーションに IP アドレスを自動的に割り振ることができます。Windows2000/NT サーバやダイヤルアップルータなどのDHCPサーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。

Windows2000/NT サーバやダイヤルアップルータの DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows2000/NT のマニュアルまたはダイヤルアップルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。ネットワーク上に Windows Me/98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

LAN（Local Area Network）

「ラン」と発音します。１つの建物の中やキャンバスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。

10Mbps ～ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

MAC アドレス（Media Access Control Address）

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。

MAC アドレスは、先頭からの 3 バイトのベンダコードと残り 3 バイトのユーザコードの 6 バイトで構成されます。

ベンダコードは、IEEE が管理／割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワーク機器の製造メーカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

TCP/IP（Transmission Control Protocol ／ Internet Protocol）

OSI 参照モデルのネットワーク層とトランスポート層に相当するプロトコルで、RFC によって定義されています。

そのため、TCP/IP を実行していれば異なる端末間で互いに通信することができます。

• 通常は、TELNET や FTP といったアプリケーションプロトコルも含まれます。
• インターネット標準のプロトコルです。

■　カタカナ表記が一般的な用語

50 音順に説明します。

ファームウェア

ルータ／モデム／ TA などのハードウェアに組み込まれているソフトウェア（プログラム）のことです。
ハードウェアに組み込まれているソフトウェアなので、ハードウェアとソフトウェアの中間的なものといえます。

プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。例えば、2 つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行ううえで必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

3.2 ネットワーク関連の Windows 画面上の用語

■ Windows Me/98/95 の画面

共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。

ユーザー名とパスワード入力画面

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。

- ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ユーザー名とパスワードは、Windows Me/98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください。
- マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます。

共有しない　：ドライブの共有を解除するときに選択します。
共有する　：ドライブを共有するときに選択します。
共有名　：共有するドライブの名称を変更できます。
アクセスの種類　：共有するドライブに対しての読み書きを許可します。
読み取り専用　：共有するドライブを読み込み専用にします。
フルアクセス　：共有するドライブに読み書きを許可します。
パスワードで区別　：パスワードにより、読み書きを許可します。
パスワード　：「アクセスの種類」に対するパスワードです。
読み取り専用　：読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
フルアクセス用　：読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

■　Windows Me/98 の画面

識別情報画面

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

コンピュータ名　　　：ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ワークグループ　　　：ネットワーク上で、区分けをするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

コンピュータの説明　：「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくてもかまいません。

メモ　**[コンピュータ名]、[ワークグループ] には、半角英数字を入力することを推奨します。**

⚠注意　**一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。**

■ Windows95 の画面

ユーザー情報画面

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「ユーザー情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

コンピュータ名　　　：ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ワークグループ　　　：ネットワーク上で、区分けをするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

コンピュータの説明　：「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくてもかまいません。

メモ　**［コンピュータ名］、［ワークグループ］には、半角英数字を入力することを推奨します。**

⚠注意　**一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。**

第 4 章　仕様

■ ここで説明すること

BroadStation と各ポートの仕様について説明します。

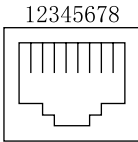
4.1 製品仕様

LAN インターフェース部	準拠規格	IEEE802.3　（10BASE-T） IEEE802.3u　（100BASE-TX）
	データ転送速度	10Mbps ／ 100Mbps　（自動認識のみ）
	データ伝送モード	半二重／全二重　（自動認識のみ）
	スイッチングデータ転送方式	ストア＆フォワード方式
	MAC アドレステーブル（全ポートの合計）	1024 アドレス　（セルフラーニング）
	バッファメモリ	128KB
	ポート	100BASE-TX ／ 10BASE-T 兼用ポート× 4
WAN インターフェース部	規格	IEEE802.3 準拠
	伝送速度	10Mbps
	伝送路符号化方式	マンチェスターコーディング
消費電力／消費電流	8W（最大）／ 0.1A（最大）	
重量	460g（AC アダプタ含まず）	
外形寸法	76（W）× 170（H）× 205（D）mm	

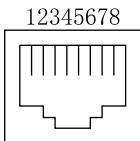
メモ　**最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。**

4.2 ポート仕様

■　10/100M ポート仕様

コネクタ形状（RJ-45 型 8 極コネクタ）

ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+	受信データ（＋）
2	RD-	受信データ（－）
3	TD+	送信データ（＋）
4	（Not Use）	未使用
5	（Not Use）	未使用
6	TD-	送信データ（－）
7	（Not Use）	未使用
8	（Not Use）	未使用

■　WAN ポート仕様

コネクタ形状（RJ-45 型 8 極コネクタ）

ピン番号	信号名	信号機能
1	TD+	送信データ（＋）
2	TD-	送信データ（－）
3	RD+	受信データ（＋）
4	(Not Use)	未使用
5	（Not Use）	未使用
6	RD-	受信データ（－）
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用